

市民センターまつり

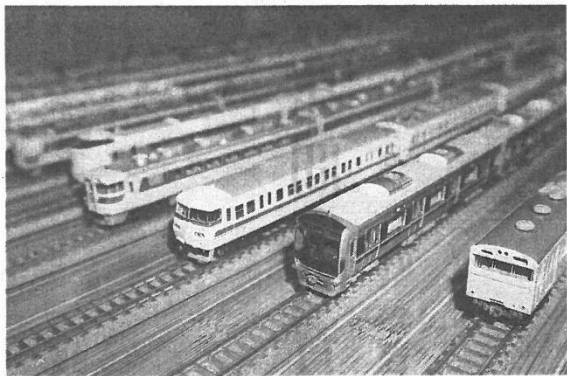
90団体が多彩に参加

22日、舞台・体験・食

「第13回丹波篠山市民センターまつり」が、22日午前9時半～午後4時、同センター（黒岡）で開かれる。同センター内の丹波篠山市民プラザの登録団体や同センターの定期利用団体、市内高校の計約90団体が展示や体験、ステージ発表、バザー、「食」の提供など多彩な催しを行う。また、同センター内の丹波篠山暮らし案内所が移住者コーナーを初めて設けるほか、JR元運転士が鉄道模型を展示し、子どもたちに運転を体験してもらう催しを行う。

鉄道模型の展示も

同センターを管理運営「加団体で構成する実行委
するウイズささやま」委員会（委員長＝



移住者のコーナーで、子どもたちがコントローラーで運転体験できる鉄道模型＝丹波篠山市内で

・一般社団法人天内代（あちのしろ）の主催。
メインテーマは「多世代の交流と活躍」。篠山鳳鳴高校放送部がステージの司会進行や館内のアナウンスを担当。午前9時半からのオープニングでは、篠山小学校金管クラフが演奏する。
同10時から24団体がステージで発表。19団体が日本茶体験やノルディックウォーキング、体操、コミュニケーション麻雀、スポーツ吹矢などのワークショップを開く。また、21団体が絵画や作品、活動パネルなどを展示。10団体は手工芸品や商品などを販売するバザーを開く。この他、14団体が農産

物や菓子、ベーグル、弁当、寿司、鹿カツを、篠山東雲高校が農産物、篠山産業高校が野菜とポップコーンを販売する。
鉄道模型を展示するのは、2020年に高槻市から田舎暮らしを求めて同市に移住したさん（67）。過去に福知山線を行っていた列車や現役の列車など、線路幅9ミリサイズのNゲージの模型約15種類を展示する。線路を設け、子どもたちがコントローラーで運転が体験できるようにする。8歳以上が対象。無料。
入場無料。ウイズささやま

ステージ発表団体は次の通り（出演順）。
篠山混声合唱団、女声コーラスあじさい、日本の童謡・唱歌をひろめる会、ハッピースマイルアンサンブル、フラスタジオゆうこ、吹奏楽団アリマベール、一般社団法人オズウェイズ、語りベサークルふるさと、カンファサクル常笑輝龍、篠山・丹波よさこい連絡協議会、一般社団法人大阪相撲甚句会丹波篠山相撲甚句健康教室、ささふれ、ささやまシアター・アンサンブル、ダンスアートコレクシヨンス、女声コーラスゆうゆう、ホーポール・エ・レファ（ウェビ・ノ・カワカ）、ささやまハモヤンス、フローラル・グレイス・ダンス・アンジェリーション、少林寺拳法、日本民謡秀教会、たきアックス文化倶楽部、デカンショバンド

2024年12月15日
丹波新聞